



魚のゆりかご水田



恒例となった4年生の「ゆりかご水田」の学習が今年度もおこなわれました。6月11日(水)には、せせらぎの郷と滋賀県の農林政策課の方を講師にお招きし、2022年に世界農業遺産として認定された「琵琶湖システム」や「ゆりかご水田の意義」などを学びました。世界農業遺産が自分たちの住んでいる地域にあることに驚くとともに、本当に田んぼで魚が生まれているのか確かめたいという気持ちも強くなりました。

6月16日(月)には現地学習へ出かけました。親魚が田んぼで産卵するための魚道を観察した後、フナやナマズの稚魚が本当に育っているのかを網ですくって確かめました。たくさんの魚がゆりかご水田で生まれ、安全に育っていることを実感するとともに、学習したゆりかご水田の成果を感じることができました。

せせらぎの郷の方や地域の方々に見守られ、安全に活動することができました。すくった魚の一部は学校へ持って帰り、大切に育てて秋に琵琶湖へ放流する予定です。



中主小学校地域学校協働活動